

## 平成28年度 保健体育科新任者研修会 報告書

報告者 浜松開誠館中学校・高等学校 石川奈美

- 1 研修目標 「志を高める私学教育」
- 2 部会目標 「たくましい体力と豊かな情操を育てる」
- 3 期 日 平成28年度11月22日(火) 12:30~15:45
- 4 会 場 清水国際高等学校 礼拝堂
- 5 参加者 県内私学保健体育科教員 31名

### 6 研修報告

12:30~12:50 開会式

#### ①部会長挨拶

土屋義人校長(常葉学園菊川中学校・高等学校)

#### ②会場校高校挨拶

平等民雄校長(清水国際高等学校校長)

13:05~14:55 研究授業 (5時限目 6時限目)

篠原美咲教諭 体育「バレーボール」(体育館) 5時限

対 象 1年7組女子

本時の目標 声を掛け合いながらレシーブ、パスをすることでラリーが続くようにする。チーム内での自己の役割や課題を理解し、攻撃のチャンスを作り出す。

由井裕人教諭 体育「バスケットボール」(体育館) 5時限

対 象 2年5組男子

本時の目標 (1)基本的技能のおさらいを行い、高まった技能を活かしてゲームを行うことができる(2)パスをした後スペースに走りこむことができる(3)互いに声を掛け合いながらプレーすることができる(4)バスケットボールの特性に係る安全に配慮する

原 郁生教諭 保健「飲酒と健康」(実践室) 6時限目

対 象 普通科 進学コース 1年3組

本時の目標 アルコールは脳や神経の働きを低下させ、心身の働きに悪影響を与えることや様々な健康影響につながる

る事を理解する。アルコールの分解を理解するとともに、自分の酵素の働きをアルコールパッチテストで確認する。

#### 授業について

体育では、運動が苦手な生徒に対しても、適切な言葉かけと、学習内容により、満足感の得られる内容であった。男子は、ゲームの前に、やや運動量に欠ける心配があったが、お互いが気を遣って動けていたため、怪我也起きることはなかった。女子は、技能レベルに合わせてチームを分け、練習を行った。経験者の好プレーを、他の生徒が見て学ぶ良い機会となっていただけでなく、女子では中々難しいゲーム中のラリーを経験することで、バレーボールの楽しさを味わうことができていた。男女ともに、生徒の笑顔があふれ、日頃の雰囲気づくりの成果が表れていた。

保健では、教員の持つパワーに生徒が皆引き込まれていた。不適切な発言をする生徒への対応も適切であり、全体を把握する力もあり、圧巻であった。「話す・書かせる・見させる」の時間的なバランスもよく、生徒は興味をもってアルコールの影響について学んでいた。

- 15 : 05～15 : 45 指導講評・反省会  
本会研修委員 松田清孝校長（浜松日体中学校・高等学校校長）
- 15 : 45 閉会